

第 2 7 期中間期の業績の概況



株式会社 秋川牧園

ごあいさつ

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第 27 期上半期（平成 17 年 4 月 1 日から平成 17 年 9 月 30 日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げますので、よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、私が社長に就任いたしましたして、この 12 月で 5 ヶ月が経過いたしました。おかげさまで、消費者の健康志向、食べ物の安全志向はさらに高まりつつあり、当社は、この面において着実な信頼とご支持をいただきつつあります。

今後とも経営の健全性を大切にしつつ、かつ、秋川牧園を顧客の健康で豊かな生活づくりに向けて、価値創造の活力に溢れた会社へと進化させてまいりたいと考えております。

株主の皆様には、何卒今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 17 年 12 月

代表取締役社長 秋川 正

（当中間連結会計期間の企業集団の業績の概況）

平成 16 年 1 月に日本で発生した鳥インフルエンザの影響により、前中間連結会計期間は、鶏肉、鶏卵の売上が低迷しました。しかし、その後、秋より消費が急回復しており、その流れは当中間連結会計期間におきましても継続いたしました。

その中でも、商品開発体制の強化を行ってまいりました冷凍食品事業につきましては、顧客のご要望に的確にお応えすることができ、売上が大きく伸張いたしました。

当社の食品を中心に会員宅に毎週商品をお届けする会員制宅配事業「スマイル生活」につきましては、引き続き品揃えや商品カタログの改善など、顧客満足度の向上に努め、会員数も着実に増加いたしました。

また、前年度に事業を譲り受け、当社の 100% 子会社とした鶏肉の一次処理場である(株)チキン食品につきましては、当社の鶏肉事業とのトータライズにより、品質強化と効率化を推進することができました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は 18 億 63 百万円（前中間連結会計期間比 8.0% 増）、営業利益は 29 百万円（前中間連結会計期間は 25 百万円）、経常

利益は 25 百万円（同 27 百万円）となりました。

なお、当社の収支構造は、もともと食品産業の特性により季節要因が大きく、収益の大部分を年度後半で計上する特性があります。

中間純利益は 2 百万円（前中間連結会計期間は 138 百万円）となりましたが、これは前期は子会社である(株)スマイル生活との合併に伴い、繰延税金資産を認識したことにより大幅な増益要因が発生いたしました。当中間連結会計期間につきましては、その特殊要因がなくなったことによるものであり、実質的には中間純利益につきましても増益を確保しております。

（食の安心安全と農業の企業化の先駆的取り組み

さらに、「健康」に広く貢献する秋川牧園へ）

今から 33 年前、当社が先駆的に取り組んだ食の安心・安全は、今や時代の大きな核となり、ほとんどの消費者が認める共通の価値観となってきました。

また近年では、後継者問題や国際競争力の低さなどの問題をかかえる日本の農業について、逆に今後の有望なビジネスととらえるトレンドが生まれています。しかし、自然を相手とする農業は複雑系の産業であり、企業化は大きな困難性を伴います。当社は創業以来、農業の企業化に地道に取り組み、平成 9 年には農業の会社として日本で初めて株式上場を果たすことができました。

これらのトレンドの中で、当社は食の安心・安全、そして農業の企業化に先駆的に取り組んできたことによる様々な蓄積があり、今後も優位性をもって事業を展開できるポジションにあります。

また、このように消費者が食にこだわりをもつようになった背景には、よき人生の基盤となる「健康」に対する強い関心があり、今後の高齢化の進展に伴い、その傾向はさらに高まるものと考えられます。

そこで今後は、食の安心・安全、食の信頼に対する当社の優位性をキープしつつ、さらに消費者の「健康」に対して、より広く貢献できる提案力、開発力を確立していきたいと考えています。それは、当社の考える「フードデザイン」のコンセプトであり、宅配事業のスマイル生活を中心に、食べ方提案や食生活コンサルティング、医と食の融合、健康食品やサプリメントの提案などを今後展開していきたいと考えています。

また、既存の製造卸売事業につきましても、顧客志向を徹底し、個々の顧客により密着した商品の開発と提案を積極的に行い、売上の拡大を目指します。さらに、新しい分野へ投入する経営資源を確保するためにも、アクション 21 による効率化を引き続き全社をあげて進めてまいります。

（企業集団の業績予想）

通期の事業収支の見通しといたしましては、連結売上高 39 億 64 百万円、連結経常利益 130 百万円、連結当期純利益 55 百万円を見込んでおります。

なお、配当金（1 株 20 円）は引き続き継続する予定であります。

（株価の推移）

当該中間会計期間における月別最高・最低株価

	平成 17 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
最高（円）	821	820	835	930	880	981
最低（円）	799	799	797	857	856	876

中間連結貸借対照表

(平成 17年 9月 30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	【1,738,233】	【流動負債】	【1,965,312】
現金及び預金	696,771	支払手形及び買掛金	310,334
受取手形及び売掛金	413,778	短期借入金	1,355,000
有価証券	10,299	1年内返済予定長期借入金	77,120
たな卸資産	297,252	未払法人税等	5,666
短期貸付金	31,558	賞与引当金	32,478
未収入金	179,715	その他	184,714
繰延税金資産	99,023		
その他	11,559	【固定負債】	【406,156】
貸倒引当金	1,725	社 債	100,000
【固定資産】	【2,294,572】	長期借入金	138,760
(有形固定資産)	(1,685,790)	退職給付引当金	125,296
建物及び構築物	775,953	その他	42,100
機械装置及び運搬具	172,678	負債合計	2,371,469
土地	693,613		
建設仮勘定	3,046	少数株主持分	3,808
その他	40,497		
(無形固定資産)	(132,451)	(資本の部)	
連結調整勘定	123,482	【資本金】	714,150
その他	8,968	【資本剰余金】	681,030
(投資その他の資産)	(476,330)	【利益剰余金】	244,127
投資有価証券	71,038	【株式等評価差額金】	19,988
長期貸付金	267,428	【自己株式】	1,113
繰延税金資産	99,117	資本合計	1,658,182
その他	38,800		
貸倒引当金	53		
【繰延資産】	【653】		
社債発行費	653		
資産合計	4,033,459	負債、少数株主持分 及び資本合計	4,033,459

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

中 間 連 結 損 益 計 算 書

〔平成 17年 4月 1日から
平成 17年 9月 30日まで〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
(経 常 損 益 の 部)		
【 営 業 損 益 】		
営 業 収 益		1,863,595
売 上 高		
営 業 費 用		
売 上 原 価	1,380,781	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	453,033	1,833,814
営 業 利 益		29,780
【 営 業 外 損 益 】		
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	3,561	
そ の 他	5,511	9,073
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	11,537	
そ の 他	1,719	13,256
経 常 利 益		25,597
(特 別 損 益 の 部)		
【 特 別 利 益 】		
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	698	
固 定 資 産 売 却 益	31	
そ の 他	2,452	3,182
【 特 別 損 失 】		
固 定 資 産 売 却 損	317	
固 定 資 産 除 却 損	679	
保 険 解 約 損	1,284	
減 損 損 失	1,394	
連 結 調 整 勘 定 償 却 額	6,108	9,784
税金等調整前中間純利益		18,995
法人税、住民税及び事業税		2,780
法 人 税 等 調 整 額		13,914
少 数 株 主 損 失		628
中 間 純 利 益		2,929

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

中 間 貸 借 対 照 表

(平成 17年 9月 30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	【1,770,583】	【流動負債】	【1,942,149】
現金及び預金	601,609	買掛金	415,999
受取手形	2,663	短期借入金	1,270,000
売掛金	410,171	未払法人税等	5,316
たな卸資産	279,498	賞与引当金	27,561
未収入金	276,564	その他	223,271
繰延税金資産	76,315	【固定負債】	【362,657】
その他	125,486	社債	100,000
貸倒引当金	1,726	長期借入金	99,800
【固定資産】	【2,265,314】	退職給付引当金	124,524
(有形固定資産)	(1,350,252)	その他	38,333
建物	574,512	負債合計	2,304,807
土地	520,253	(資本の部)	
その他	255,486	【資本金】	【714,150】
(無形固定資産)	(8,457)	【資本剰余金】	【681,030】
その他	8,457	資本準備金	681,030
(投資その他の資産)	(906,603)	【利益剰余金】	【317,689】
長期貸付金	621,679	利益準備金	100,000
繰延税金資産	86,713	任意積立金	101,000
その他	198,267	中間未処分利益	116,689
貸倒引当金	56	【株式等評価差額金】	19,988
【繰延資産】	【653】	【自己株式】	1,113
社債発行費	653	資本合計	1,731,743
資産合計	4,036,550	負債・資本合計	4,036,550

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

中 間 損 益 計 算 書

〔平成 17年 4月 1日から
平成 17年 9月 30日まで〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
(経 常 損 益 の 部)		
【 営 業 損 益 】		
営 業 収 益		1,831,318
売 上 高		
営 業 費 用		
売 上 原 価	1,398,887	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	413,693	1,812,581
営 業 利 益		18,736
【 営 業 外 損 益 】		
営 業 外 収 益		7,888
営 業 外 費 用		11,671
経 常 利 益		14,953
(特 別 損 益 の 部)		
【 特 別 利 益 】		3,682
【 特 別 損 失 】		1,792
税 引 前 中 間 純 利 益		16,844
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		2,424
法 人 税 等 調 整 額		13,976
中 間 純 利 益		443
前 期 繰 越 利 益		116,246
中 間 未 処 分 利 益		116,689

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。